

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在昼間を想定した避難訓練は年2回行っているが、夜間時を想定したシミュレーションや連絡網の確認が必要である。 地域の協力が得られるよう、近隣住民への当事業所の周知が必要である。	夜間緊急招集連絡網が機能し、近くに住む職員が速やかに応援に来られる。 緊急時地域住民に協力が仰げる。	定期的に夜間連絡網の模擬訓練を行う。 近隣の自治会と連絡を取り、理解と非常時の協力を依頼する。	12ヶ月
2	19	利用者の家族に対し体調不良時等緊急の連絡は随時行っているが、普段の様子等を知らせる機会が少ない。	利用者の家族と信頼関係を築き、より密な協力体制が取れる。	面会に来た家族にホームでの暮らしの様子を詳しく話す機会を持ち、話した内容は経過記録に残す。 遠方の家族には毎月書面にて様子を知らせる。	12ヶ月
3	2	近隣住民に対し、夏祭りへの参加を呼びかけたり、地域のボランティアの来訪を受けているが、利用者が出掛け、地域と関わる機会が少ない。	地域の行事に積極的に出掛け、地域の中での楽しみを持ち、近隣住民と関わりを持つ。	地域で定期的に行われている、小学校での朝市やふれあい祭りに参加する機会を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。